

VII. 田中每実先生 略歴・著作一覧

田中每実先生 略歴

学 歴

1971年3月	大阪大学文学部卒業
1971年4月	大阪大学大学院文学研究科修士課程入学
1973年3月	大阪大学大学院文学研究科修士課程修了
1973年4月	大阪大学大学院文学研究科博士課程進学
1975年3月	大阪大学大学院文学研究科博士課程中退
2003年3月	京都大学博士（教育学）

職 歴

1975年4月	大阪大学人間科学部助手
1977年4月	愛媛大学教育学部助手
1978年4月	愛媛大学教育学部講師
1980年4月	愛媛大学教育学部助教授
1991年12月	愛媛大学教育学部教授
1995年10月	京都大学高等教育教授システム開発センター教授
2003年4月	京都大学高等教育研究開発推進センター教授
2006年4月	京都大学高等教育研究開発推進センター長

田中毎実先生 著作一覧

(1975 年 1 月～2012 年 3 月)

1975 年

田中毎実「フロイト理論およびフロム理論における「自己の形成」―「体制化」と「オリエンテーション」」、『待兼山論叢』第 8 号、大阪大学文学部、1 月

1977 年

田中毎実「「自発性」と「生産性」―フロムの「自己実現」論について」、『大阪大学人間科学部紀要』第 3 号、3 月

田中毎実「「自己愛」と「自己実現」―J. J. ルソーから E. フロムへ」、『道德教育の研究』第 1 集、愛媛大学教育学部道德教育研究室、11 月

1978 年

田中毎実「「自己実現」論の成立―フロムの初期理論を中心として」、『愛媛大学教育学部紀要』第 I 部第 24 巻、2 月

田中毎実「職業と教育」、『教育学論集』第 7 号、愛媛大学教育学部教育学研究室、3 月

1979 年

田中毎実「「逆説的希望」と「自己実現」―フロム・マルクーゼ論争を中心として」、『愛媛大学教育学部紀要』第 I 部第 25 巻、2 月

1980 年

田中毎実「教育の可能根拠としての人間の自然」、『愛媛大学教育学部紀要』第 I 部第 26 巻、2 月

田中毎実「職業人―ウェーバー」、岡田渥美編『教育の歴史―理想の人間像を求めて』ミネルヴァ書房、3 月

田中毎実「エーリッヒ・フロム「自己実現」論の成立と構成」、『教育哲学研究』第 42 号、教育哲学会、11 月

1981 年

J. ランゲフェルト著、岡田渥美・和田修二監訳『続 教育と人間の省察』玉川大学出版部、6 月（共訳）

1982 年

田中毎実「おとなの発達—「生涯発達」の人間形成論的把握のための予備的考察」、『愛媛大学教育学部紀要』第Ⅰ部第 28 巻、2 月

1983 年

田中毎実「教育可能性論の人間形成原論的構想」、『教育学論集』第 10 号、愛媛大学教育学部教育学研究室、12 月

1985 年

田中毎実「ライフサイクルと人間形成」、『生涯教育の人間形成論的基礎づけに関する研究』昭和 59 年度文部省科学研究費補助金総合研究 (B) (研究代表者・岡田渥美) 研究成果報告書、3 月

1987 年

田中毎実「学校における“Mutual Regulation” (1) —人間形成論的試論」、『愛媛大学教育学部紀要』第Ⅰ部第 33 巻、2 月

1989 年

田中毎実「ライフサイクルと人間形成—序論 人間の生涯と形成」、『愛媛大学教育学部紀要』第Ⅰ部第 35 巻、2 月

1990 年

田中毎実「おとなの成熟と異世代間相互規制」(研究討議 子ども・大人・教育責任—危機的状況における教育的コンセンサスを求めて)、『教育哲学研究』第 61 号、教育哲学会、5 月

1991 年

田中毎実「「老いと死」と異世代間の“Mutual Regulation”」、『老いと死に関する人間形成論的総合研究—生涯教育の統合的・原理的基礎づけのために』平成元・2 年度文部省科学研究費補助金総合研究 (A) (研究代表者・岡田渥美) 研究成果報告書、3 月

田中毎実・鷹尾雅裕「制度化と相互性—ホスピタリズムとその一事例に関する人間形成論的研究」、『教育学論集』第 13 号、愛媛大学教育学部教育学研究室、11 月

1992 年

ヴォルフガング・ブレツィンカ著、岡田渥美・山崎高哉監訳『価値多様化時代の教育』玉川大学出版部、9 月 (共訳)

1993 年

田中毎実「教員養成の人間学的・歴史的基盤とその制度化—人間形成論的考察」、田中毎実編『教員の資質・能力の構成分析とその養成に関する理論的・実証的研究』平成4年度大学教育方法等改善経費による研究報告書、愛媛大学教育学部、3月

田中毎実「ホスピタリズムと教育における近代—人間形成論的再検討」、『近代教育フォーラム』第2号、近代教育思想史研究会、10月

1994 年

田中毎実「「老いと死」の受容と相互形成」、岡田渥美編『老いと死—人間形成論的考察』玉川大学出版部、2月

田中毎実「「老いと死」の受容と成熟」、岡田渥美編『老いと死—人間形成論的考察』玉川大学出版部、2月

田中毎実「研究討議についての総括的報告」(研究討議 ライフサイクルの危機と教育理論の再構築—「老いと死」、「出産と性」、「時間論」から)、『教育哲学研究』第69号、教育哲学会、5月

田中毎実「教育の技術以前と技術以後—教育技術学批判のために」、『愛媛大学教育実践研究指導センター紀要』第12号、7月

田中毎実「「発達」と「人間形成」—西平直『エリクソンの人間学』を読む」、森田尚人・藤田英典・黒崎勲・片桐芳雄・佐藤学編『教育のなかの政治』〈教育学年報3〉世織書房、9月

1995 年

田中毎実「いじめと非行—教育学の立場から」、総務庁青少年対策本部『平成8年度青少年相談機関に関するブロック連絡会議の結果概要』、3月

讃岐幸治・田中毎実編『ライフサイクルと共育』青葉図書、9月

1996 年

田中毎実「なぜ今、生きがいなのか」、井原栄二ほか編『看護する者・される者とコミュニケーション』明治図書、2月

田中毎実「人間のテクノロジーの場所—医療と教育における対人関係様式について」、『教育学論集』第14号、愛媛大学教育学部教育学研究室、2月

岡田渥美・田中毎実「人間形成の〈全一的〉再規定に向けて」、岡田渥美編『人間形成論—教育学の再構築のために』玉川大学出版部、3月

田中毎実「人間形成論の内容的展開の試み—ライフサイクルと相互形成」、岡田渥美編『人間形成論—教育学の再構築のために』玉川大学出版部、3月

田中毎実「後書き」、岡田渥美編『人間形成論—教育学の再構築のために』玉川大学出版部、3月

岡田渥美・田中毎実「教育責任の人間形成論のために」、『教育責任に関する人間形成論的総合研究』平成5・6・7年度文部省科学研究費補助金総合研究（A）（研究代表者・岡田渥美）研究成果報告書、3月

田中毎実「学部科目「教育哲学／人間形成論」の実践」（日本教育学会第54会大会課題研究〈教育学教育の課題〉私の教育学研究—実践報告）、『教育学研究』第63巻第1号、日本教育学会、3月

田中毎実「書評 三木博著『ユング個性化思想の構造』」、『教育哲学研究』第73号、教育哲学会、5月

田中毎実「定時公開授業「ライフサイクルと教育」(1) —平成8年度実施のために」、『京都大学高等教育研究』第2号、京都大学高等教育教授システム開発センター、6月

田中毎実「発達と教育の論理—その「ライフサイクル論」と「相互性論」への再編成」、原聰介編『教育の本質と可能性』八千代出版、7月

1997年

Tsunemi Tanaka, 'Floating Around and Self-Confinement as the Result of Over-Adaptation of Young People in Japan Today.—An investigation on the relevant data and several case studies and the reconstruction of the pedagogy,' in Heinz Hermann Kruger und Jan-Hendrik Olberz, Hrsg., *Bildung zwischen Staat und Markt*, Leske Budrich

田中毎実「海図のない航海で海図を作る—「教育学教育」の可能性」、四国地区・日本教育学会『「教育学教育」を考える』、3月

田中毎実・今井康雄「研究討議に関する総括的報告」（研究討議 教師の存在論）、『教育哲学研究』第75号、教育哲学会、5月

田中毎実「臨床教育学」、江川玟成ほか編『教育キーワード137』時事通信社、5月

田中毎実「フリースクール」、江川玟成ほか編『教育キーワード137』時事通信社、5月

田中毎実「大学における公開実験授業—京都大学における一年間」、『学士会会報』第816号、学士会、7月

田中毎実「一年間の旅路」、京都大学高等教育教授システム開発センター編『開かれた大学授業をめざして—京都大学公開実験授業の一年間』玉川大学出版部、9月

田中毎実「ある日の授業」、京都大学高等教育教授システム開発センター編『開かれた大学授業をめざして—京都大学公開実験授業の一年間』玉川大学出版部、9月

田中毎実「成果と課題」、京都大学高等教育教授システム開発センター編『開かれた大学授業をめざして—京都大学公開実験授業の一年間』玉川大学出版部、9月

田中毎実「公開授業のめざしたもの」、京都大学高等教育教授システム開発センター編『開かれた大学授業をめざして—京都大学公開実験授業の一年間』玉川大学出版部、9月

田中毎実「現職教員の大学院教育—ライフサイクルの観点から」、京都大学教育学部・現職教育研究会『大学における教員研修の現状と課題Ⅰ』、9月

田中毎実「「恫喝としての同一性」という恫喝を「ずらす」—鳶野論文への応答」、『近代教育フォーラム』第6号、教育思想史学会、10月

田中毎実「定時公開実験授業「ライフサイクルと教育」(2)—「一般教育」と「相互研修」に焦点つけて」、『京都大学高等教育研究』第3号、京都大学高等教育教授システム開発センター、10月

田中毎実「大学教育の個性と個性化の観点から」(第3回大学教育改革フォーラム 大学教育の個性化をどう進めるか)、『京都大学高等教育研究』第3号、京都大学高等教育教授システム開発センター、10月

田中毎実「書評 中田基昭著『現象学から授業の世界へ』」、『教育学研究』第64巻第4号、日本教育学会、12月

1998年

田中毎実「死の受容(キューブラー・ロス)」、作田啓一・木田元・亀山佳明・矢野智司編『人間学命題集』新曜社、3月

田中毎実「京都大学工学部学生の学習意欲と教育的課題—卒業生調査、4回生調査および今回の調査を手がかりに」、『一般教育における工学部学生の学習意欲の向上方策に関する調査研究 報告書』、3月

田中毎実・杉本均・溝上慎一『平成8年度公開実験授業の記録』(京都大学高等教育叢書3)京都大学高等教育教授システム開発センター、3月

田中毎実「大学教育における授業の構造と構造化」、『京都大学高等教育研究』第4号、京都大学高等教育教授システム開発センター、10月

田中毎実「高等教育論の観点から」(第4回大学教育改革フォーラム これからの教養教育をどうするか)、『京都大学高等教育研究』第4号、京都大学高等教育教授システム開発センター、10月

田中毎実・大山泰宏・石村雅雄・溝上慎一「〈フォーラム〉共同研究／京都大学における公開実験授業の成果と課題」、『大学教育学会誌』第20巻第2号、大学教育学会、11月

田中毎実「書評 西平直著『魂のライフサイクル—ユング・ウィルバー・シュタイナー』」、『教育哲学研究』第78号、教育哲学会、11月

1999年

田中毎実・石村雅雄・大山泰宏・溝上慎一『平成9年度公開実験授業の記録』(京都大学高等教育叢書4)京都大学高等教育教授システム開発センター、3月

田中毎実「教育学教育における学問共同体の構築と教育学の生成—公開実験授業の試みから」(日本教育学会第57回大会シンポジウムⅡ「教育学」教育の課題と地平)—教育と研究の関

連を問う)、『教育学研究』第 66 巻第 1 号、日本教育学会、3 月

田中毎実「生涯教育から見る「発達」、『臨床教育人間学』第 1 号、京都大学大学院教育学研究科臨床教育学講座、3 月

田中毎実「公開授業の実践と授業改善」(大学授業の自己改善法—1997 年度授業改善の実践報告／1997 年度研修『大学授業の自己改善法』合同説明会講演記録より)、メディア教育開発センター編『研究報告』第 7 号、3 月

田中毎実「教育関係の歴史的生成と再構成—システムと相互性」、原聰介・宮寺晃夫・森田尚人・今井康雄編『近代教育思想を読みなおす』新曜社、4 月

田中毎実「教育学教育における学問共同体の構築と教育学の生成—公開実験授業の試みから」、香川大学教育学研究室編『教育という「物語」』世織書房、9 月

田中毎実「相互性を生かす授業」、財団法人大学セミナーハウス『よりよい大学教育の方法を求めて—教える授業から学ぶ授業へ—その 2—』(第 16 回大学教員研修プログラム記録)、9 月

田中毎実「大学授業のフィールドワークから大学教育学へ—公開実験授業プロジェクト 3 年間の中間的総括」、『京都大学高等教育研究』第 5 号、京都大学高等教育教授システム開発センター、10 月

田中毎実「趣旨説明」(第 5 回大学教育改革フォーラム 大学授業をどう変えるか—研究から実践へ—Faculty Development を超えて)、『京都大学高等教育研究』第 5 号、京都大学高等教育教授システム開発センター、10 月

田中毎実「森昭の教育人間学—統合学と原理論を循環する生成理論」、皇紀夫・矢野智司編『日本の教育人間学』玉川大学出版部、11 月

田中毎実「(私の書評) 伊藤秀子・大塚雄作編『ガイド・ブック 大学授業の改善』、『書斎の窓』第 489 号、有斐閣、11 月

2000 年

田中毎実「「副専攻制」の現状と課題—京都大学総合人間学部の場合」、有本章編『学部教育改革の展開』〈高等教育研究叢書 60〉広島大学大学教育研究センター、1 月

田中毎実「公開実験授業第Ⅰ期プロジェクトから第Ⅱ期プロジェクトへ—平成 10 年度の公開実験授業について」、『平成 10 年度公開実験授業の記録』〈京都大学高等教育叢書 6〉京都大学高等教育教授システム開発センター、3 月

田中毎実「KKJ (京都大学慶應義塾大学連携ゼミ) 実践の前提と展開」、『平成 11 年度 KKJ—Kyoto-Keio Joint Seminar—で何が起こったか—授業・合宿・インターネットを通じた学び』〈京都大学高等教育叢書 7〉京都大学高等教育教授システム開発センター、3 月

田中毎実「平成 11 年度公開実験授業について」、『平成 11 年度公開実験授業の記録』〈京都大学高等教育叢書 8〉京都大学高等教育教授システム開発センター、3 月

荒木光彦・田中毎実「はじめに—生成的組織評価をめざして」、『生成的組織評価をめざして—自己点検・自己評価、外部評価 報告書』〈京都大学高等教育叢書 9〉京都大学高等教育教授

システム開発センター、3月

田中毎実「高等教育教授システム開発センターの過去・現在・未来」、『生成的組織評価をめざして—自己点検・自己評価、外部評価 報告書』〈京都大学高等教育叢書9〉京都大学高等教育教授システム開発センター、3月

田中毎実「主題講演」、教授方法調査研究会編『わかりやすい講義をめざして』鳥取大学、3月

田中毎実「逸脱」、教育思想史学会編『教育思想事典』勁草書房、5月

田中毎実「教育可能性」、教育思想史学会編『教育思想事典』勁草書房、5月

田中毎実「自我」、教育思想史学会編『教育思想事典』勁草書房、5月

田中毎実「ホスピタリズム」、教育思想史学会編『教育思想事典』勁草書房、5月

田中毎実「老人」、教育思想史学会編『教育思想事典』勁草書房、5月

田中毎実「ロジャース」、教育思想史学会編『教育思想事典』勁草書房、5月

田中毎実「自己点検・評価と外部評価で何が得られたか 大学組織評価のあり方を求めて—京都大学高等教育教授システム開発センターの評価活動と評価研究」、『IDE 現代の高等教育』第420号、民主教育協会、7月

田中毎実「「学級」の日常的生成と歴史的生成」(シンポジウム 学級の思想)、『近代教育フォーラム』第9号、教育思想史学会、9月

田中毎実・今井重孝・赤堀侃司・藤岡完治「大学カリキュラム改革と授業改善」、『京都大学高等教育研究』第6号、京都大学高等教育教授システム開発センター、10月

田中毎実「問題提起」(第6回大学教育改革フォーラム FDをどう組織するか—相互研修の共同体へ向けて)、『京都大学高等教育研究』第6号、京都大学高等教育教授システム開発センター、10月

田中毎実「臨床的教育理論と教育的公共性の生成」、『教育学研究』第67巻第4号、日本教育学会、12月

田中毎実「Book Review 宇佐美寛著『大学の授業』」、『IDE 現代の高等教育』第419号、民主教育協会、6月

田中毎実「特別講演 教養教育の授業改善を巡って—公開実験授業の経験から」、『大学教育研究年報』第5号、新潟大学大学教育開発研究センター、12月

2001年

田中毎実「遠隔講義におけるオンラインとオフラインの協働について」、メディア教育開発センター研究開発部『ニュースレター 高等教育改革とマルチメディア』、1月

佐藤学・田中毎実・矢野智司・やまだようこ・鈴木晶子・山崎高哉「シンポジウム 教育改革の今日的意義—教育研究と教育実践」、『21世紀を展望した子どもの人間形成に関する総合的研究』伊藤忠記念財団調査研究報告書36、伊藤忠記念財団、2月

- 田中毎実「公開実験授業プロジェクト第Ⅱ期第2年度について」、『平成12年度公開実験授業の記録』〈京都大学高等教育叢書10〉京都大学高等教育教授システム開発センター、3月
- 田中毎実「公開実験授業の振り返り—第1回から第6回まで」、『平成12年度公開実験授業の記録』〈京都大学高等教育叢書10〉京都大学高等教育教授システム開発センター、3月
- 田中毎実「おわりに」、『大学授業の参加観察プロジェクト報告(1)—大学授業の参加観察からFDへ』〈京都大学高等教育叢書11〉京都大学高等教育教授システム開発センター、3月
- 田中毎実「大学授業のフィールドワーク」、京都大学高等教育教授システム開発センター編『大学授業のフィールドワーク—京都大学公開実験授業』玉川大学出版部、3月
- 田中毎実「大学授業の実践的研究」、京都大学高等教育教授システム開発センター編『大学授業のフィールドワーク—京都大学公開実験授業』玉川大学出版部、3月
- 田中毎実「書評 安岡高志ほか著『授業を変えれば大学は変わる』」、『大学論集』第31集、広島大学高等教育研究開発センター、3月
- 田中毎実「大学における授業改革を考える」、『創造と実践』第1号、大阪大学全学共通教育機構・教育方法研究委員会、3月
- 田中毎実「京都大学」、『大学設置基準の大綱化に伴う学士課程カリキュラムの変容と効果に関する総合的研究』平成10～12年度文部省科学研究費補助金基盤研究(B)(1)(研究代表者・有本章)研究成果報告書、3月
- 田中毎実「学生の授業参加を促す」、島根大学全学教育委員会編『学ぶ主体をどう回復するか—授業展開とカリキュラム編成上の工夫』わかりやすい講義をめざす授業方法の改善—ファカルティ・ディベロップメント(FD)研修会報告書、3月
- 田中毎実「FDの現在」、京都大学大学院経済学研究科・経済学部FD研究会『経済学・経営学ファカルティ・デヴェロップメント(FD)研究報告書』、3月
- 田中毎実「遠隔連携ゼミにおけるオンライン授業とオフライン授業との協働について」、『特定領域研究(A)「高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究」研究成果報告書』、3月
- 田中毎実「ラインの向こうとこちら—遠隔ゼミにおける学生集団・教師集団の異文化性」(日本学術会議シンポジウム「バーチャル・ユニバーシティと教育改革／講演2」)、『平成13年電気・情報関連学会連合大会講演予稿集』、8月
- 田中毎実「啓蒙活動から相互研修へ—京都大学高等教育教授システム開発センターのFDプロジェクトをめぐって」、『京都大学高等教育研究』第7号、京都大学高等教育教授システム開発センター、9月
- 田中毎実「大学における授業研究の立場から」(第7回大学教育改革フォーラム 大学教員の教育能力をどう開発するか)、『京都大学高等教育研究』第7号、京都大学高等教育教授システム開発センター、9月
- 田中毎実「啓蒙と相互研修の間—工学部FDプロジェクトの意義」、『ディベート形式による工学部FDシンポジウム—工業化学科・地球工学科・物理工学科』〈京都大学高等教育叢書12〉京都大学高等教育教授システム開発センター、12月

2002 年

- 田中毎実「〈総括〉大学授業研究から大学教育学へ」、京都大学高等教育教授システム開発センター編『大学授業研究の構想—過去から未来へ』東信堂、3月
- 田中毎実「授業公開から見えてくる大学教育の課題」、島根大学教育学部FDプロジェクト『ファカルティ・ディベロップメント』、3月
- 田中毎実「FDと学生の授業評価」、『跡見学園女子大学FDジャーナル』第1号、跡見学園女子大学FD委員会、3月
- 田中毎実「遠隔ゼミにおける学生集団・教員集団の文化的差異」、『特定領域研究(A)「高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究」研究成果報告書』、3月
- 田中毎実・森田尚人「総括的報告」(課題研究「学力論」の問題圏)、『教育哲学研究』第85号、教育哲学会、5月
- 田中毎実「「大学教育」再考」、日本児童研究所編『児童心理学の進歩』2002年版、金子書房、6月
- 田中毎実「京都大学制作の公開実験授業ビデオ」、『関西大学FDフォーラム』第3巻、関西大学全学共通教育推進機構FD部門委員会・授業評価部門委員会、7月
- 田中毎実「京都大学高等教育教授システム開発センターの研究開発プロジェクト」、『IDE 現代の高等教育』第441号、民主教育協会、8月
- 田中毎実「大学の学校化—大学教育改革の行方と教育理論」、藤田英典・片桐芳雄・佐藤学編『大学改革』〈教育学年報9〉世織書房、9月
- 田中毎実「大学教育の実践的研究を介して臨床的人間形成論へ」、『京都大学高等教育研究』第8号、京都大学高等教育教授システム開発センター、12月
- 田中毎実「総括」(第8回大学教育改革フォーラム 大学教育評価をどうするか—評価からFDへ)、『京都大学高等教育研究』第8号、京都大学高等教育教授システム開発センター、12月

2003 年

- 溝上慎一・松下佳代・田中毎実「ボトムアップ式の広義FD実践への拡張—工学部教育FDジョイントワークショップの開催」、『ディベート形式による工学部FDシンポジウム(建築学科・電気電子工学科・情報学科)および授業参観にもとづくジョイントワークショップ報告』〈京都大学高等教育叢書15〉京都大学高等教育教授システム開発センター、1月
- 田中毎実「Book Review 啓蒙のゆくえ—島田博司著『大学授業の生態誌』／池田輝政ほか『成長するティップス先生』」、『IDE 現代の高等教育』第446号、民主教育協会、1月
- 田中毎実『臨床的人間形成論の構築—大学教育の実践的認識を手がかりにして』京都大学博士(教育学)学位論文、2月
- 田中毎実「京都大学におけるFD」、『IDE 現代の高等教育』第447号、民主教育協会、3月
- 田中毎実「【授業分析】 授業計画と授業構成—7月15日授業(井下理教授担当)について」、

『平成 14 年度公開実験授業の記録』〈京都大学高等教育叢書 16〉、京都大学高等教育教授システム開発センター、3 月

田中毎実「FD の現状と課題—第 2 期 FD に向けて」、岩手大学ファカルティ・ディベロップメント委員会『ファカルティ・ディベロップメント報告書』、3 月

田中毎実「VIRTUAL UNIVERSITY—FUTURE OF OUR UNIVERSITIES? —ヴァーチャル・ユニバーシティの原理的基礎とその可能性について」、『特定領域研究 (A) 「高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究」 研究成果報告書』、3 月

田中毎実「『自閉と漂流』—臨床人間形成論的青年論の試み」、山崎高哉編『応答する教育哲学』ナカニシヤ出版、3 月

田中毎実『臨床的人間形成論へ—ライフサイクルと相互形成』勁草書房、4 月

田中毎実「臨床的人間形成論の成立可能性」、皇紀夫編『臨床教育学の生成』玉川大学出版部、6 月

田中毎実「発達論的図式から構造論的図式へ—報告で残された課題について」(Forum1 人間形成における垂直軸の問題)、『近代教育フォーラム』第 12 号、教育思想史学会、9 月

荒木光彦・田中毎実「序」、京都大学高等教育研究開発推進センター編『大学教育学』培風館、11 月

田中毎実「大学教育学とは何か」、京都大学高等教育研究開発推進センター編『大学教育学』培風館、11 月

田中毎実「大学授業論」、京都大学高等教育研究開発推進センター編『大学教育学』培風館、11 月

田中毎実「ファカルティ・ディベロップメント論—大学教育主体の相互形成」、京都大学高等教育研究開発推進センター編『大学教育学』培風館、11 月

田中毎実「電子情報メディア革新と教育実践—大学での遠隔情報プロジェクトによる一考察」、『京都大学高等教育研究』第 9 号、京都大学高等教育研究開発推進センター、12 月

田中毎実「問題提起」(第 9 回大学教育改革フォーラム 高等教育における教育改革と経営改善)、『京都大学高等教育研究』第 9 号、京都大学高等教育研究開発推進センター、12 月

田中毎実「授業開発」、『大学改革がわかる』朝日新聞社、10 月

田中毎実「大学の教育開発」、全国日本学士会『AKADEMIA』第 83 号、12 月

2004 年

田中毎実「時間的な公共性をめぐって—研究会参加の感想にかえて」、『公共的良識人』、2 月

田中毎実「FD の現状と課題—京都大学の実践を手掛かりに」、財団法人私学研修福祉会『2003 年度大学の教育・授業を考えるワークショップ』、2 月

田中毎実「京都大学」、広島大学高等教育研究開発センター編『大綱化以降の学士課程カリキュラム改革—国立大学の事例報告』〈高等教育研究叢書 78〉、3 月

- 田中毎実「子どもと大人—教育関係」、山崎高哉編『教育学への誘い』ナカニシヤ出版、3月
- 田中毎実「はじめに」、『バーチャルユニバーシティ構築の基礎づけに関する総合的研究』〈京都大学高等教育叢書 18〉平成 13～15 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) (研究代表者・田中毎実) 研究成果報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3月
- Tsunemi Tanaka, 'Initial Remark,' International Symposium "The Virtual University—Future of our Universities?," 『バーチャルユニバーシティ構築の基礎づけに関する総合的研究』〈京都大学高等教育叢書 18〉平成 13～15 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) (研究代表者・田中毎実) 研究成果報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3月
- 田中毎実「ラインの向こうとこちら—遠隔ゼミにおける学生集団・教員集団の異文化性」、『バーチャルユニバーシティ構築の基礎づけに関する総合的研究』〈京都大学高等教育叢書 18〉平成 13～15 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) (研究代表者・田中毎実) 研究成果報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3月
- 田中毎実「電子情報メディア革新と教育実践—大学での遠隔情報プロジェクトによる一考察」、『バーチャルユニバーシティ構築の基礎づけに関する総合的研究』〈京都大学高等教育叢書 18〉平成 13～15 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) (研究代表者・田中毎実) 研究成果報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3月
- 田中毎実「「公開実験授業」とは何か—平成 8 年から平成 15 年までの中間的総括」、『平成 15 年度公開実験授業の記録および公開実験授業 8 年間の中間的総括』〈京都大学高等教育叢書 19〉京都大学高等教育研究開発推進センター、3月
- 田中毎実「図書紹介 中田基昭編著『重障児の現象学』」、『教育哲学研究』第 89 号、教育哲学会、5月
- 田中毎実「教育哲学を考える」、『教育哲学研究』第 90 号、教育哲学会、11月
- 田中毎実・寺崎昌男「「シンポジウム I」を司会して」(シンポジウム I)、『大学教育学会誌』第 26 巻第 2 号、大学教育学会、11月
- 田中毎実「相互研修型 FD の組織化による教育改善—京都大学の取組事例を中心に」、『2004 年度第 2 回 FD 研修会』流通科学大学、11月
- 田中毎実・佐藤学・佐藤雅彰・山脇直司・金泰昌・矢崎勝彦『二十一世紀の日本の教育課題』公共哲学共働研究所、12月
- 田中毎実「授業を開発すること」、大学教育学会 25 年史編纂委員会編『新しい教養教育をめざして 大学教育学会 25 年の歩み—未来への提言』東信堂、12月
- 田中毎実「主旨説明」(第 10 回大学教育改革フォーラム 今こそ大学教育の改善を問い直す—COL の投げかけるもの)、『京都大学高等教育研究』第 10 号、京都大学高等教育研究開発推進センター、12月
- 田中毎実「総括」(第 10 回大学教育改革フォーラム 今こそ大学教育の改善を問い直す—COL の投げかけるもの)、『京都大学高等教育研究』第 10 号、京都大学高等教育研究開発推進センター、12月

2005 年

- 田中每実「絶句と発語の間—臨床的人間形成論の生成をめぐる」(研究討議 臨床的人間形成論の構築)、『教育哲学研究』第 91 号、教育哲学会、5 月
- 田中每実「図書紹介 宇佐美寛著『大学授業の病理—FD 批判』」、『教育哲学研究』第 92 号、教育哲学会、11 月
- 田中每実「〈巻頭言〉大学教育学会の未来へ」、『大学教育学会誌』第 27 巻第 2 号、大学教育学会、11 月
- 田中每実「シンポジウムⅡを司会して」(シンポジウムⅡ「大学教育改革と大学教育学会」)、『大学教育学会誌』第 27 巻第 2 号、大学教育学会、11 月
- 田中每実「図書紹介 山内乾史著『現代大学教育論』」、『教育学研究』第 72 巻第 4 号、日本教育会、12 月
- 酒井博之・田中每実「遠隔連携ゼミにおける学びの構造の構造化」、『京都大学高等教育研究』第 11 号、京都大学高等教育研究開発推進センター、12 月

2006 年

- 田中每実「教育実践力を培う教員養成のあり方—鳴門教育大学のコアカリキュラムを中心に」、鳴門教育大学学校教育学部教務委員会編『平成 17 年度ファカルティ・ディベロップメント推進事業実施報告書』、2 月
- 林哲介・田中每実「はじめに」、『外部評価懇談会報告書』〈京都大学高等教育叢書 22〉京都大学高等教育研究開発推進センター、3 月
- 田中每実「センター第 1 部門の主な業務について」、『外部評価懇談会報告書』〈京都大学高等教育叢書 22〉京都大学高等教育研究開発推進センター、3 月
- 田中每実「はじめに—企画と活動の中間的報告」、『相互研修型 FD の組織化による教育改善 2004-2005』〈京都大学高等教育叢書 23〉平成 16 年度採択特色 GP 報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3 月
- 田中每実「大学教育の学校化と脱学校化」、『2005 年度独立行政法人国際交流基金助成 京都大学大学院教育学研究科国際シンポジウム事業報告書』、3 月
- 田中每実「シンポジウムコメンテーターによるコメント (2)」、『21 世紀型教員養成教育の開発と実践—欧米の先進的教員養成システムに基づく教育プログラムの構築』(文部科学省平成 17 年度「大学教育の国際化推進プログラム(海外先進教育実践支援)」成果報告書) 広島大学、3 月
- 田中每実「FD の現在と課題」(シンポジウムⅠ「教育支援コミュニティづくりとしての FD」)、『大学教育学会誌』第 28 巻第 1 号、大学教育学会、5 月
- 田中每実「学生の主体的学びを促す教育システム」、青野透編『新時代の大学像と専門人材育成』金沢大学大学教育開発・支援センター、6 月

田中毎実「発題 VIII ジェネラティビティと世代継承の公共性—教育関係と世代関係から」、鈴木興太郎・宇佐美誠・金泰昌編『世代間関係から考える公共性』〈公共哲学 20〉東京大学出版会、7月

田中毎実「第一次調査のフォローアップと新たなモデルの構築」(ラウンドテーブル V FD のダイナミクス (その 1))、『大学教育学会誌』第 28 巻第 2 号、大学教育学会、11 月

田中毎実「大学教育研究の現在—臨床的大学教育研究の立場から」、『京都大学高等教育研究』第 12 号、京都大学高等教育研究開発推進センター、12 月

田中毎実「FD の新たなトレンドと課題」(第 12 回大学教育研究フォーラム シンポジウム FD の新たな組織化を目指して—教員、学生、事務職員)、『京都大学高等教育研究』第 12 号、京都大学高等教育研究開発推進センター、12 月

2007 年

田中毎実「はじめに」、『大学授業実践の質的研究にもとづく電子メディア化と FD ネットワークの構築』〈京都大学高等教育叢書 24〉平成 16~18 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) (研究代表者・田中毎実) 研究成果報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3 月

酒井博之・田中毎実「遠隔連携ゼミにおける学びの構造の構造化」、『大学授業実践の質的研究にもとづく電子メディア化と FD ネットワークの構築』〈京都大学高等教育叢書 24〉平成 16~18 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) (研究代表者・田中毎実) 研究成果報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3 月

大山泰宏・酒井博之・田中毎実・北神慎司「Web を利用した公開授業システムの構築」、『大学授業実践の質的研究にもとづく電子メディア化と FD ネットワークの構築』〈京都大学高等教育叢書 24〉平成 16~18 年度科学研究費補助金基盤研究 (B) (2) (研究代表者・田中毎実) 研究成果報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3 月

田中毎実「教育における意志疎通可能性の限界的探索へ」、『対話をめぐる繋がりと裂け目—祈り・修辞・読書』平成 18 年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ京都大学大学院教育学研究科「理論・実践融合型による教育学の研究者養成」研究開発コロキウム (研究代表者・中村夕衣) 研究成果報告書、3 月

安西祐一郎・前川喜平・本田由紀・大桃敏行・田中毎実・佐藤学・坪井由実・松浦良充「教育政策と教育学研究との対話—教育学は政策学たりうるのか」(日本教育学会第 66 回大会報告公開シンポジウム I)、『教育学研究』第 75 巻第 1 号、日本教育学会、3 月

田中毎実「FD の義務化と島根大学の実践」、『島根大学教育開発センター年報』第 1 号、3 月

田中毎実「FD の義務化に向けて」、『山形大学高等教育研究年報』第 1 号、3 月

田中毎実「地域ネットワーク FD“樹氷”シンポジウム—FD の義務化と FD 地域拠点の形成」、『山形大学高等教育研究年報』第 1 号、3 月

田中毎実・井下理「シンポジウム III を司会して」(シンポジウム III 「FD のダイナミクス—現状の把握と課題の析出」)、『大学教育学会誌』第 29 巻第 1 号、大学教育学会、5 月

田中毎実「臨床的教育理論と近代教育批判の射程」、『近代教育フォーラム』第 16 号、教育思想

史学会、9月

田中每実「大学教育研究の失敗—臨床的大学教育研究をめぐって」、「日本の教育システム」研究グループ・教育研究の「失敗」サブグループ『教育研究の「失敗」報告書』、10月

田中每実「〈書評〉下司晶著『〈精神分析的子ども〉の誕生』」、「教育学研究」第74巻第4号、日本教育学会、12月

2008年

田中每実「相互研修型FD組織化」の可能性—本取組の総括」、「相互研修型FDの組織化による教育改善 2007—4年間の活動の成果と自己評価」〈京都大学高等教育叢書 26〉平成16年度採択特色GP報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、2月

田中每実「研究大学におけるFDとFD地域連携—京都大学の場合」、東北大学高等教育開発推進センター編『研究・教育のシナジーとFDの将来』東北大学出版会、3月

田中每実「戦後教育哲学の出発」に関する総括的報告（特定課題研究報告助成プロジェクト報告「戦後教育哲学の出発」）、『教育哲学研究』第97号、教育哲学会、5月

田中每実「FDの工学的経営学的モデルとその生成性の回復のために」（シンポジウム III 「FDのダイナミックス—FDモデルの構築に向けて」、『大学教育学会誌』第30巻第1号、大学教育学会、5月

田中每実「相互研修型FDの組織化と拠点形成—京都大学の場合」、『IDE 現代の高等教育』第503号、IDE大学協会、8月

田中每実「基調報告「相互研修型FDの組織化」の可能性—本取組の総括（特色GP成果報告）」（第14回大学教育研究フォーラム シンポジウム 相互研修型FDの組織化をめぐって）、『京都大学高等教育研究』第14号、京都大学高等教育研究開発推進センター、12月

2009年

田中每実「臨床的人間形成論の現在」、平野正久編『教育人間学の展開』北樹出版、1月

田中每実「はじめに—事業の趣旨」、『大学教員教育研修のためのモデル拠点形成 2008』〈京都大学高等教育叢書 27〉平成20年度採択特別教育研究経費報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、2月

田中每実「学会紹介「大学教育研究フォーラム」」、『IDE 現代の高等教育』第509号、IDE大学協会、4月

田中每実「教育哲学の教育現実構成力について」（課題研究 教育研究のなかの教育哲学—その位置とアイデンティティを問う）、『教育哲学研究』第99号、教育哲学会、5月

田中每実「ファカルティ・ディベロップメントの組織化をめぐって」、『中部大学教育研究』第9号、5月

田中每実「〈巻頭言〉2008年度課題研究集会を終えて」、『大学教育学会誌』第31巻第1号、大学教育学会、5月

田中毎実「『FD モデル』の構築可能性」(シンポジウム III 「FD のダイナミックス—FD モデル構築へむけた今後の課題」『大学教育学会誌』第 31 巻第 1 号、大学教育学会、5 月

田中毎実「あとがき」、『教育哲学研究』第 100 号記念特別号、教育哲学会、11 月

2010 年

田中毎実「はじめに」、『大学教員教育研修のためのモデル拠点形成 2009』〈京都大学高等教育叢書 28〉平成 21 年度採択特別教育研究経費報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3 月

田中毎実「活動成果の概要」(地域連携—関西地区 FD 連絡協議会の 2 年目の活動成果)、『大学教員教育研修のためのモデル拠点形成 2009』〈京都大学高等教育叢書 28〉平成 21 年度採択特別教育研究経費報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3 月

田中毎実「教育現実の構成と教育哲学の構成」、『教育哲学研究』第 101 号、教育哲学会、5 月

田中毎実『『聞き書 村井実、上田薫 回顧録』を読む』、『教育哲学研究』第 101 号、教育哲学会、5 月

田中毎実(司会)「全体討論」(第 16 回大学教育研究フォーラム 特別講演／シンポジウム—教える集団をどう組織するか)、『京都大学高等教育研究』第 16 号、京都大学高等教育研究開発推進センター、12 月

田中毎実「『研究と教育の一致』の理念は現実的か?」、『中部大学教育研究』第 10 号、12 月

2011 年

Tsunemi Tanaka, 'The Status of Faculty Development in Japan', in The Center for the Promotion of Excellence in Higher Education at Kyoto University and Kayo Matsushita (eds.) *Building Networks in Higher Education: Toward Future of Faculty Development*, Maruzen Planet.

田中毎実「大学の学校化—大学教育改革の行方と教育理論」、杉谷祐美子編『大学の学び—教育内容と方法』〈リーディングス日本の高等教育 2〉玉川大学出版部、2 月

田中毎実「日本の FD の現在—なぜ、相互研修型 FD なのか?」、京都大学高等教育研究開発推進センター編『大学教育のネットワークを創る—FD の明日へ』東信堂、3 月

田中毎実「基調報告 相互研修型 FD 共同利用拠点の仕事」、『FD ネットワークの展開と大学教育改革の方向性を問う』〈京都大学高等教育叢書 30〉平成 22 年度特別経費「大学教員教育研修のための相互研修型 FD 拠点形成」・平成 22 年度教育関係共同利用拠点「相互研修型 FD 共同利用拠点」報告書、京都大学高等教育研究開発推進センター、3 月

田中毎実「『学問教育共同体』の現代的再編成について」(開催校企画シンポジウム「キャリア形成における大学教育—ライフサイクルの視点から」)、『大学教育学会誌』第 33 巻第 1 号、大学教育学会、5 月

田中毎実『大学教育の臨床的研究—臨床的人間形成論 第 1 部』東信堂、12 月

2012 年

田中每実「非対称的相互性から対称的相互性へ—不幸を紡ぐ教育関係からの脱却のために」、
子安増生・杉本均編『幸福感を紡ぐ人間関係と教育』ナカニシヤ出版、1 月

田中每実『臨床的人間形成論の構築—臨床的人間形成論 第 2 部』東信堂、3 月

田中每実「大学教育学とは何か」、京都大学高等教育研究開発推進センター編『生成する大学教育学』ナカニシヤ出版、3 月

